

# Inclusion インクルージョン いんくるーじょん

## ◎高校生活の“9分の1”が終わりました。

先日の7/6（土）に行われたPTA1学年部会には、101名もの保護者の方にご参加いただきました。進路講演会や修学旅行説明会など外部の講師も招き、大変有意義な情報共有の場になりました。この場を借りて改めて感謝申し上げます。なお、欠席の方には、生徒を通じて資料を配付いたしましたのでご確認ください。

さて、7月は、学科選択説明会・模擬試験・立佞武多の高欄制作・五高祭・スポーツフェスティバルなど、行事が目白押しの中で各クラスがそれぞれの色を発揮して頑張ってくれました。振り返ると、4月の入学からはや4か月、学期で捉えると1年生の3分の1、3年間の9分の1が終わりました。今後の高校生活の時間経過は、加速度的に速くなるように感じると思います。一日一日を大事に、卒業時に彼らが“一人暮らし”できるよう2学期以降も指導・支援に努めてまいります。

保護者のみなさまには、各担任から夏季休業中に予定している三者面談のご案内をいたしました。生徒の進路選択における重要な岐路となります。何卒ご協力よろしくお願いいたします。

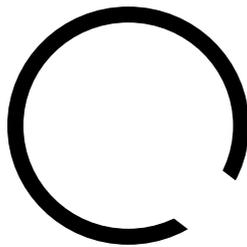




## 「○（まる）」のはなし 学年主任：張間

年度当初、学年団で「キックオフミーティング」を行いました。そこで、私は担任の先生に  
あるお願いをしました。それが「○（まる）」のはなしです。

「これから黒板に“まる”を書きます。そのどこが気になりますか。その理由も教えて下さい。」



答えてくれた先生の回答は100点でした。欠けた所に目が行き、その理由は「まる」じゃな  
いからだ。きっと多くの人が同様に答えると思います。

このことから分かるように、私たちは欠けている所に目が行きがちです。そして、大部分が  
「まる」であるにもかかわらず、全部が出来ていないと「まる」じゃないと否定してしまうこと  
があります。私が担任団にお願いしたのは、出来ていないところにばかり目を向けるのではな  
く、気づきにくい出来ている部分を承認して欲しいということでした。

私たちの学年は、「異なる背景や能力を持つ全ての生徒が歓迎される環境」の実現を目指し、  
“インクルージョン”を掲げています。まず、私たち教員がその模範となるよう、日々生徒と関  
わっていきたいと思っています。（※私たち教員も人それぞれですので、そちらもインクルー  
ジョンの精神で受け入れていただけたら幸いです。）